

泉大津市健康づくり推進条例

誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり

～未病予防対策先進都市をめざして～

現在の医療制度は、病気を見つける診断や、病気になってからの治療についての多くは保険適用で受けることができますが、健康増進や未病予防対策については保険適用されるサービスが少ない状況です。また、個人の健康に対する関心や知識、所得や教育、職業などの社会的要因によって健康増進等に取り組む選択肢に違いが生じ、そのことが、健康状態へも影響を及ぼすおそれがあります。そのため、市では、従来からの生活習慣病対策に未病予防対策等を加え、健康づくりの気運醸成と環境づくりを推進し、ヘルスリテラシーの向上と健康寿命の延伸・生活の質の向上をめざしていきます。

2つのめざす姿

▶市民のヘルスリテラシーが高まっている

新たな感染症予防対策や病気になる前の段階からの未病予防対策等、様々な健康課題を解決するために、一人ひとりの健康状態を見える化し、食育の普及や現代医学、伝統医学等の多様な選択肢を提供します。そして、自分にあった健康づくりの選択、行動、継続を通じて、市民のヘルスリテラシーが高まっている状態をめざします。

▶健康づくりを推進していく気運が醸成されている

乳幼児から高齢者まで、ライフステージ等に応じた主体的な健康づくりを、市、市民、教育機関等、地域活動団体、事業者、保健医療関係者の多様な主体の連携・協働により“地域全体”で支援し、健康づくりを推進していく気運が醸成されている状態をめざします。

4つの取り組み

従来からの生活習慣病対策



新しい健康づくり対策

1 健康状態の見える化

健康づくりのスタートは、自分のからだを知ることから！
未病状態の気づきを促していきます。



2 学びの場の充実

知識やノウハウを学び、体験できる場や、からだを整え実践するための機会や情報を提供していきます。



3 食育の推進

食育は生きる上での基本。
生涯を通じ、からだの健康を支える「選ぶ力・作る力・食べる力」＝「生きる力」を育んでいきます。



4 多様な選択肢

自分に合った健康づくりが見つかるよう官民連携・市民共創のもと、多様な選択肢づくりに取り組んでいきます。



泉大津市の健康状況を数字でみると…

最新の
データは
こちら

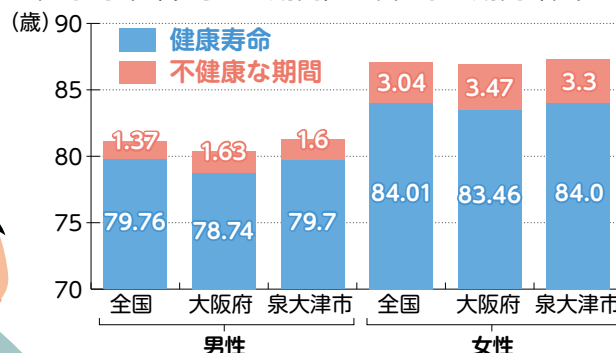


実態1 健康寿命は、全国平均並

令和4年の健康寿命(平均自立期間(要介護2以上を不健康な期間として算出))をみると、男女とも、大阪府平均を上回り、全国平均並となっています。一方、不健康な期間は、男女とも大阪府平均より短く、全国平均より長くなっています。

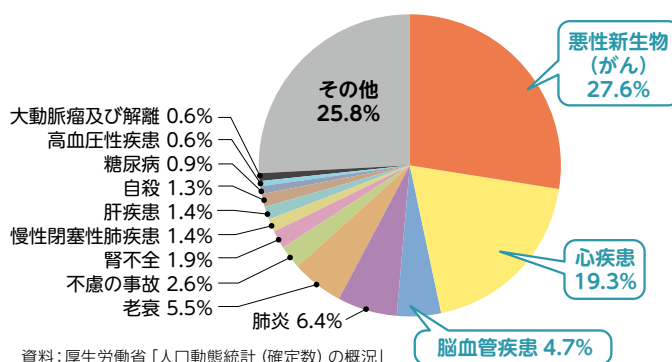


健康寿命(平均自立期間)と不健康な期間(令和4年)



資料：大阪府健康医療部健康推進室「大阪府内市町村の健康寿命について(情報提供)」

主要死因(令和5年・泉大津市)



資料：厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」

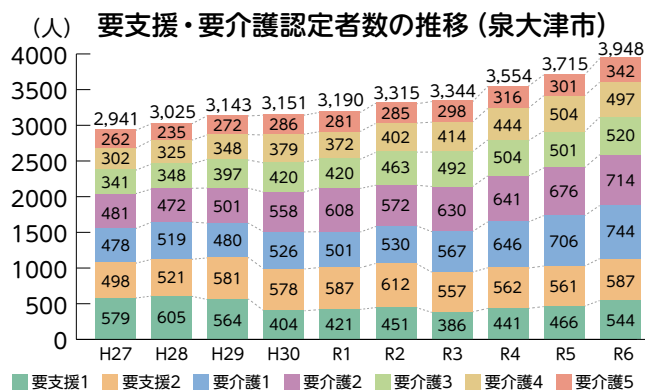
実態2 死因の半数以上が生活習慣と関わりの深い病気

令和5年の泉大津市民の主要死因をみると、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患など、生活習慣と関わりの深い病気が5割を超えています。



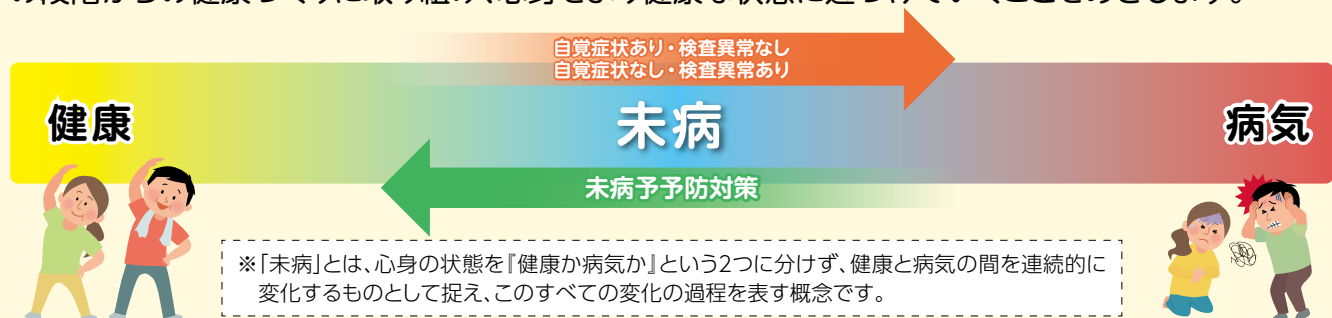
実態3 要介護になる方は年々増加しています

要支援・要介護認定者数は、年々増加し、10年前と比較して約1.3倍になっています。今後も後期高齢者の増加に伴い、認定者数の増加が見込まれます。



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告(月報)」(各年3月末現在)

平均寿命が延伸し、人生100年時代ともいわれる今、生活の質を保つためには、健康寿命を延ばすことは重要です。そのため、市では、病気の重症化を予防することだけではなく、病気になる前(未病)の段階からの健康づくりに取り組み、心身をより健康な状態に近づけていくことをめざします。



健康づくりの気運の醸成と環境づくりを推進する動き

ここでご紹介している事業のほかにも、いろいろと取り組んでいきます！

測って知ろう！



★セルフ健康チェック

保健センターに設置。誰でも自由に測定できます。

★おでかけ保健室(出前講座)

3つの測定コースから選べる出前講座です。

★健康チェックDay(定期開催)

保健センターで毎月開催します。

ベジチェックや体組成測定、骨密度測定などいろいろなメニューでからだをチェック。
市主催のイベントに出張することも！

野菜の
推定摂取量
を測定

ベジチェック



病気の予防・早期発見 早期治療・重症化予防



★各種けんしん

病気の早期発見・早期治療・予防への意識を高めるために、様々なけんしんを実施しています。



★がん・生活習慣病予防講座

運動・栄養講座など「病気を予防し、生活習慣を改善する」方法を学ぶ講座を開催しています。



食の体験で学ぼう！



★わくわく食育体験

「植える・育てる・収穫する・調理して食べる」ことを通して、親子で食の大切さを学びます。



★ときめき給食

毎月2回市内小中学校で実施している体により良い食材等を使った心もときめく給食です。



官民連携・市民共創で 新たな健康づくり！



★あしゅびプロジェクト

あしゅびから展開する健康なからだづくりをすべてのライフステージで取り組んでいます。



★泉大津版末病予防健診

末病状態を早期に把握し、主体的な健康づくりに取り組めるよう、女性ホルモンに関する検査や腸内環境検査など、独自に実施します。



楽しみながら健康に！



★アスマイル

スマホアプリでお得に楽しく健康づくりができます。



★健康ボランティアの育成

健康づくりボランティアの育成を行っています。興味のある方は、健康づくり課へ。

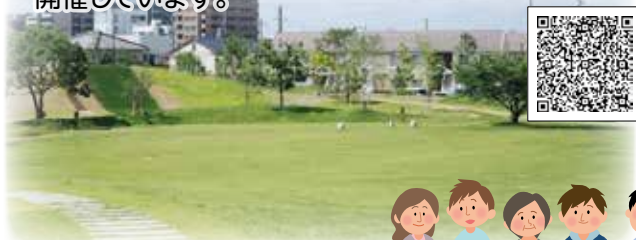


新たな健康づくりの 発信拠点を整備！



★シーパspark

健康づくりの発信拠点として、多様なメニューで健康課題を改善するため、「健康チェック」や「末病予防相談」、食育などをテーマにした「ワークショップ」が体験できる「健康ラボ」を定期開催しています。



健康になれるまちを、みんなでつくっていきましょう！





条例の構成を紹介します

条例の全文はこちら▶



泉大津市健康づくり推進条例

《条例前文》

健康は、人が生涯にわたり、心豊かにいきいきと暮らし続けるための基本となるものであり、心身を健康に保ち、生活の質を高めることは、市民共通の願いである。

本市では、これまで市民の健康寿命の延伸を目的に、生活習慣病の予防や食生活等に対する具体的な目標を掲げた「いずみおおつ健康食育計画」を策定し、関係機関と連携しながら健康づくりに関する施策に取り組んできた。

しかし、近年、少子高齢化が急速に進展する中、要介護認定者数や医療費は増加傾向にあり、また、新たな感染症への対策等、今後より一層の健康づくりの推進が求められている。

このような中で、病気になる前の段階からの未病予防対策等の様々な健康課題を解決し、心身の健康状態を高めるためには、一人ひとりの健康状態が見える化し、ヘルスリテラシー（健康情報の活用力のことをいう。）を高め、食育の普及や現代医学、伝統医学等の多様な選択肢を提供し、市民が主体的に自分に合った健康づくりに取り組んでいくことが大切である。また、乳幼児から高齢者まで、ライフステージ等に応じた健康づくりを、市、市民、教育機関等、地域活動団体、事業者及び保健医療関係者の多様な主体の連携・協働により地域全体で支援し、推進していく気運の醸成が必要である。

ここに、健康づくりの基本理念及び施策の推進のための基本的事項を明らかにし、誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくりの実現を目指すことを決意し、この条例を制定する。

第1条 目的

第2条 定義

第3条 基本理念

第4条 市の責務

第5条 市民の役割

第6条 教育機関等の役割

第7条 地域活動団体の役割

第8条 事業者の役割

第9条 保健医療関係者の役割

第10条 健康づくりの推進に関する計画の策定等

第11条 推進委員会

第12条 人材の育成及び活用

第13条 委任

附 則

令和7年3月(第2版)

【発行】泉大津市

【編集】泉大津市健康こども部健康づくり課

〒595-8686 泉大津市東雲町9番12号

TEL 0725-33-1131

市の健康づくりに
関する情報はこちら▶

